

## ～「地域発 元気づくり支援金」長野地域 優良事例表彰式・活用事例発表会～

R5 年度地域発 元気づくり支援金を活用して実施された事業の中から、優良事例表彰式・活用事例発表会が、R6 年 12 月 23 日（月）に長野合同庁舎にて行われました。長野地域で応募された事例は 54 例あり、日本 ALS 協会長野県支部は優良事例として 2 例の一つに選ばれました。当支部では昨年度、「医療的ケアを必要とする患者の災害対策」事業を行いました。

この取り組みに至る背景・事業の目的は、在宅で医療的ケアを必要とする患者や家族は、毎日の療養に精一杯であり、災害対策について考え、備える余裕がなく、漠然と災害にあったらどうしようと日々過ごしています。

そこで、医療的ケアを必要とする患者の災害支援の先進事例を学ぶ講習会や非常電源を活用した在宅支援体験会を通し、災害に対する不安感の解消と防災意識の向上を図るためにこの事業を行いました。

今回の選定のポイントは、在宅での医療ケアを必要とする患者や家族が、災害対策について考えるきっかけになるとともに、行政機関や他の研修会でも先駆的な取り組みとして取り上げられるなど、今後の展開が期待される。ということでした。

表彰の後に行われた事例発表では、役員の大田が講演会で学んだことをもとに体験会を行ったこと、保健所との連携を図り、長野保健所、飯田保健所で報告を行ったことなどを発表しました。

最後に、小林さゆり支部長が代表して、賞状をいただき、原山事務局長、発表者の大田、町田が同席させていただきました。

